

一般質問（要旨）

一般質問は、定例議会において提案された議案に関係なく、市の一般事務について市の方針をたずますものです。

自由民主党
鈴鹿市議員

森 喜代造 議員

児童虐待について

（質問）本市の相談件数と今後について問う。

（答弁）令和2年度の新規受付件数は299件、令和3年度が301件、令和4年度が315件と増加傾向にある。これは一概に虐待が増加したのではなく、地域や保育施設、学校などの見守りにより、早期発見につながったものと考える。今後、子ども本人の安全確認は、対面による確認を徹底するとともに、児童相談所による一時保護の機会を逃さないために、子どもに関わる所属機関の総合的判断力の強化を図る。

その他の質問 ○認知症対策 ○学校の屋外トイレ



公明党

藤浪 清司 議員

不登校対策について

（質問）不登校対策の現状と、校内適応教室「ほつとルーム」の拡充や、オンラインによる自宅学習など教室以外での学習を出席と成績へ反映させることなど、文部科学省の不登校総合支援対策に基づく取り組みについて尋ねる。

（答弁）現在、小学校10校と全ての中学校で校内適応教室を設置し不登校の未然防止と支援に取り組んでいる。国の補助金活用も視野に学習時間の確保に努める。ICTを活用した学習支援も行いながら出席扱いや成績反映につなげる。教育委員会と学校が連携し一人一人に応じた多様な支援を行う。



市民の声

藪田 啓介 議員

障がい者のいきやすさ

（質問）障がい者のいきやすさには学校における包括的教育（インクルーシブ教育）、福祉施策における就労支援や就労継続支援事業所の支援などの取り組みが必要であると考えます。また、障がい者の家族への支援や多様な働き方の啓発はどうなっているのか。

（答弁）教育委員会としては相互交流や共同学習に取り組み多様な学びの場を提供する。就労継続支援事業所などでは就労移行支援体制加算で一般就労への移行が評価される。また、障がい者の家族への支援では誰もが働きやすい職場環境づくりに取り組む。



新緑風会

加藤 公友 議員

生成AIの導入について

（質問）住民サービスの維持・向上を図るためには、AIの活用が必要と考える。本市の生成AIと、AI活用の現状と今後について問う。

（答弁）本市のAI活用の現状は、AI-OCRとRPAの検証により効果があった業務を令和3年度から本格導入している。生成AIの導入は、各自治体の活用事例や活用効果、それに伴うリスクの検証中で、正式な導入には至っていない。今後は、業務効率や市民サービス向上につながる活用方法を検討する。

その他の質問 ○公民連携のまちづくりに向けて ○自転車利用者のヘルメット着用



市民の声

中西 大輔 議員

主権者教育の充実について

（質問）主権者教育について、多様な主体の参画により、本市独自の教材をアップデートして作成するとともに、授業などへ議会も含め参画を求めてはどうか。

（答弁）主権者教育の教材については、新たに端末などを活用するとともに、さまざまな関係者の協力も得ながら、より充実した教材となるよう内容を検討する。また、多様な主体の参画については、他市町の優良事例を参照し、慎重に調査研究を進めながら、本市の主権者教育の充実に向けていく。

その他の質問 ○公正な選挙



新緑風会

大杉 吉包 議員

本市の産業振興について

（質問）国は、2035年までに、乗用車は新車販売でハイブリット車を含めた電動車100%を実現するとの目標を掲げている。本市の自動車関連企業に大きな影響が出ることが予想されるが、EV関連企業への誘致交渉について伺う。

（答弁）さまざまな企業に対して定期的に企業訪問を行い、情報交換などを行っている。本市のさらなる産業活性化を図るため、今後企業が新たにEV組立工場などの新設を検討される場合には、本市を立地場所の候補地として検討していただけるよう、積極的な誘致活動を行っていく。

